



ウィリアムス桃萌子 さん

今回は地域の子供達の国際教育及び英語教育に大きく関わっているウィリアムス桃萌子さんの実践報告です。

J-SHINE小学校英語上級資格者
KEN ACADEMY 子供英会話教室主催
大阪府門真市子ども英会話講座 KEIK講師
大阪府門真市公立小学校 外国語活動支援員
国際的文化教育活動推進支援団体 ALPHA副代表

J-SHINE 通信

2015年10月号

■J-SHINE資格、上級指導者資格取得のきっかけ

2001年、自宅にて主人と子供英会話教室を開講しました。その後、同市在住の英語教師仲間と英語を主とした国際支援団体を設立し、市主催の英会話講座を始め図書館での英語絵本の読み聞かせ、小中学生対象の英検対策講座、夏・冬休みの小学生 English camp など、いろいろなイベントを開催しています。

英語を指導するのに免許や資格はいりませんが、何か形のある証明のようなものが欲しいと思っていた時、J-SHINEの小学校英語指導者資格のを知り、取得しました。後、小学校での指導の実績が出来たので、上級者資格を取得しました。

JTEとして小学校での活動にかかわるようになった経緯は以下となります。

子ども英会話講座の講師をする中、市教委からの「使える英語プロジェクト事業」特区の小学校での外国語活動支援員募集があることを聞き、一般公募の採用試験を経て、約2年半、2つの小学校でお手伝いをさせていただきました。

その後、日本人による外国語支援活動の成果が認められ、それまでのNET派遣*1の代わりに市内全小学校に日本人の外国語活動支援員の配置が決まりました。現在は、同じ中学校に進学する複数の小学校を一人が担当するという、小中連携という面から見ても理想的な体制になっています。こうして一年間35コマの全授業に立ち会えるので、各校、各クラスの授業の進行のバランスを見て、同じ中学校に入学する子どもたちが、同じことを学習、吸収して入学できるよう統括的な指導が可能な状況です。私は週3日、同じ中学校に進学する2つの小学校を担当しています。また、空き時間には他学年にも英語指導を行っています。

また、同市は前述の小学生対象子ども英会話講座を始め、中学生対象の英語プレゼンテーションコンテストも毎年開催されます。ここで上位入賞者の子どもたちにはその夏、オーストラリアへホームステイ語学研修が用意されています。このように、子どもたちが英語に関わることができる機会がたくさん設けられており、この一連の活動を通して、子どもたちの英語力の強化と英語への関心が高められています。

■現在の活動状況

現場に入って初めて知ったのは、小学校の先生方が外国語活動に対してとても大きな不安を持っていらっしゃるということでした。自分たちは英語力もないのにどうやって指導するのか？ということ。ですので、まず「先生もみんなと一緒に英語の勉強をするよ。一緒に頑張ろうね。」というスタンスで活動を始めましょう、とお伝えしています。子どもたちには、「間違っても、上手に言えなくても大丈夫、楽しく積極的に、恥ずかしがらず大きい声でね。」をモットーに活動するようにしています。

さらに、先生方にとっての大きな問題が、実際の授業の行い方です。特にレッスンプランの立て方、レッスンの内容など、ここはプロの私たち支援員が一番アドバイスすべき所だと思っています。“Hi, friends!”でいえば、それぞれのユニットの目当て、単語や文の導入の仕方、アクティビティやゲームのアイデア、最終目標や振り返りなどをアドバイスします。でも、実際の授業は担任の先生にT1で進行してもらい、支援員の私はT2にできるだけ徹し、発音指導、リスニングクイズや指導のスキルの必要なゲームやアクティビティのお手伝いをします。



photo1 担当小学校のEnglish room

また、担任の先生のご経験やスキルに応じて出たり引っ込んだり調整しています。こうしたことから、やはり先生方との打ち合わせはとても重要です。担任の先生はとにかくお忙しいですが、休み時間などに何とか時間を作ってもらい打ち合わせを行っています。担任の先生と阿吽の呼吸で授業展開出来た時は最高の気分です。そのうち最初は不安げだった先生も、さすがプロの教師、どんどん自信を持っていかれ子どもたちを上手に引き込み、楽しく授業展開されていきます。そして、「英語っていいですね。」というお言葉を聞くと、こちらも「やった!」と心の中でガッツポーズ、とても嬉しいです。

さらに現場で思ったことは、充実した外国語活動に大切なことは、担任の先生のクラスコントロールです。どんなに素晴らしい環境、カリキュラム、レッスンプラン、マテリアル*2、指導者があっても、クラス運営が上手くいっていないと良い活動はできません。クラスの中にはいろんな家庭環境、生い立ち、性格そして国籍の子どもたちが混在しています。そのリーダーとなるのが担任の先生です。そんな中、普段は目立たなかったり、勉強や運動、対人関係が苦手だったりするのに、外国語活動の時間には違う顔を見せる子どもたちがいます。活動を通して自信をつけて、担任の先生がびっくりするほどその子ども自身が変わっていきます。今までそういう子どもたちをたくさん見てきました。成長していく子どもたちを見ることができるとは本当に嬉しいことです。外国語活動は全ての子どもたちが輝けるチャンスです。ここに、「小学校での外国語活動は担任の先生が行う」ということへの重要性を感じます。

また、私の担当している小学校では English room が設置されています。英語学習には環境も大切なことと、マテリアル*2の整理、電子教材の使用の面など考慮してのことです。各校校長先生をはじめ先生方にご協力いただき、教室と児童分の机と椅子の確保、電子黒板の設置等をお願いしました。教室内は楽しい雰囲気です。カードやポスターなどでデコレーションしています。子どもたちも、「ここに来たら英語の勉強をするんだ。」という気持ちになるようで、毎回「Hello!」と元気良く来てくれます。

外国語活動を通して子どもたちと触れ合えるのはとてもうれしいことです。毎年度末には子どもたちから嬉しい言葉がたくさん詰まったメッセージをいただきます。「いつも私たちのためにゲームで授業を工夫したり、楽しく飽きずに何度も練習できるように工夫して教えてくれてありがとう。」と書いているのを、ある担任の先生が見て、「子どもらは、活動の意味がちゃんとわかってるんだ。」と感心されていました。これらは私にとって大切な宝物、一年間頑張った最高のフィードバック、最高のご褒美です。



photo2

“Hi, friends!”に+αのオリジナル教材とゲームやアクティビティを盛り上げるための小道具も工夫しています。

■今後の展望

子どもに英語を教えることは、まさに「教学相長」です。キョウガクアイチョウズ、人に教えること、人から学ぶことはお互いに作用しあうという意味です。この仕事は、教えることと与えること以上に、たくさんのことを教えられ与えられる仕事だと強く感じます。「日本の子どもたちのことが一番理解できる。」という大きなアドバンテージがある私たち第二言語使用者、日本人外国語支援員の強みを生かして、これからも日々邁進していきたいと思います。

- *1. NET 派遣
Native English Teacher の略。
外国人英語指導者の派遣。
- *2. マテリアル
教材や教具など

* J-SHINE 通信 Web ページ

この 2015 年 10 月号をはじめ、過去に発行した J-SHINE 通信はすべて J-SHINE の Web サイトから配信しています。

こちらからご覧ください。

<http://www.j-shine.org/tsuushin.php>

